

(4) 1. 210.3      p. 26,906kg      (5) 1. 50 日 22 時 38 分 40 秒      p. 15431.96

(6)  $40.7 \times 19.4 \div 2 = 394.79$        $45.1 \times 31.8 = 717.09$        $(394.79 \text{ 平方 m} + 717.09 \text{ 平方 m}) \div 100 \text{ 平方 m} = 11.1188$

答 11.1188 a

(7) 9 人      5 日      72 日       $\frac{15}{15} : \frac{9}{96} = 5 : x$        $x = 4$       答 4 日

(8)  $1 \text{ 圓} 20 \text{ 錢} \times (1 + 0.25) = 1 \text{ 圓} 50 \text{ 錢}$        $1 \text{ 圓} 50 \text{ 錢} \times (1 - 0.2) = 1 \text{ 圓} 20 \text{ 錢}$       答 損益ナシ

(9)  $12 \text{ 時} - 6 \text{ 時} = 6 \text{ 時}$        $6 \text{ 時} \div \left(1 + \frac{1}{2}\right) = 4 \text{ 時}$        $6 \text{ 時} + 4 \text{ 時} = 10 \text{ 時}$       答 午前 10 時

(10)  $100 \text{ 圓} \times 0.05 \div 93 \text{ 圓} = 0.054$        $50 \text{ 圓} \times 0.12 \div 105 \text{ 圓} = 0.057$        $0.057 - 0.054 = 0.003$       答 株式ノ方が得 0.003

○國語科

一、1. ネゲン      2. タバコ      3. シヤウジン      4. ソシヤウ      5. ソク

6. コウタイ      7. シュシ      8. カンコウ      9. ケイタイ      10. アン

二、1. 人々を行きつもどりの考へさせて立去ることができないやうにさせる。

2. 天皇陛下の御恩を御かへしする爲ではありませんが。

3. かきぶりがなみ／＼でなく色どりのうまいことは言ひあらはせない。

4. しせんと人の心をきちんとさせる。

5. 今それを考へて見るとただ一ときの夢のやうにはかないものだ。

三、1. 原因      2. 複雑      3. 否決      4. 終點      5. 供給

- 6. 長所      7. 義約      8. 成功      9. 退歩      10. 輸出
- 四、建國、暗示、理想信仰、尊敬、忠愛、發露、尊重、諸外國、敬意、
- 五、1. 國中のものが一つになつて事にあたること。      2. めざましい進歩。
- 3. 初から終まで同じやうに。      4. ただちにさりきめてかんだんではつきりしてゐる。
- 5. がまんづよくて心をかへずに物事をやりとほすこと。

◎帶 題 科

一、聖德太子、菅原道真、日蓮、大石良雄、四郷隆盛、

二、東海道線、山陽線、京釜線、京義線、安奉線、

三、ひじき(植物)      ほんだわら(植物)      うに(動物)      ふのり(植物)

くらげ(動物)      かいめん(動物)      みじん(動物)      いそぎんちやく(動物)

さんご(動物)      かび(植物)

- 四、1. 福井縣の港、シベリヤのウラナホストックとの間に定期航路が開けてゐる。
- 2. 支那第一の貿易港、揚子江の河口にある。
- 3. ハライ諸島第一の港、日本人の在住するもの多し。
- 4. 滿洲國の首府、陸上交通の要地。
- 5. ドイツの首府。

- (4) 神皇正統記を著したり。
- (1) 眞言宗を傳へたり。
- (5) 八代將軍なり。
- (2) 古事記傳を著す。
- (8) 鎌倉に幕府を開きたり。

帝京商業學校

筆答試問

文

一、(1) くじけないで

(2) ききめがむだではなく

(3) 長い間のかんがへのなしきげられるのもまちかになつた。

(4) どんなに喜んだか考へることが出来る。

二、(イ) マイシケン (ロ) タランイウ (ハ) ナキニンシヤ (ニ) アシハラノナカツクニ

(\*) スイサツ

三、(イ) 熱帯 (ロ) 煙草 (ハ) 物笑ひの種 (ニ) 不斷の努力 (\*) 陳列物

作 文(自作のもの)

算術

1.  $70 \text{ 圓} \times (167 + 27) = 5 \text{ 圓} 60 \text{ 錢}$      $5 \text{ 圓} 60 \text{ 錢} + 40 \text{ 錢} = 14$     答 147

2.  $1 - \frac{2}{5} = \frac{3}{5}$      $\frac{3}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{1}{5}$      $\frac{1}{5} - \frac{1}{5} = \frac{2}{5}$      $2 \text{ 圓} 80 \text{ 錢} \div \frac{2}{5} = 7 \text{ 圓}$     答 7 圓

3.  $17 \text{ 才} - 13 \text{ 才} = 4 \text{ 才}$      $34 \text{ 才} \div (3 - 1) = 17 \text{ 才}$      $17 \text{ 才} - 13 \text{ 才} = 4 \text{ 才}$     答 4 年後

4. 1. 比例シナイ    2. 比例スル

日本大學第二商業學校

筆答試問

國語科

一、(イ) 皇室の御威光のあがること。

(ロ) あさ日が天にのぼるやうな勢。

(ハ) ゆつたりさ。

(ニ) 夜明の月がうすくきたのこつてゐる。

(\*) 家にあつては机に向つて本をよんでゐる。

二、(1) 天に向つても地にたいしても少しもはづかしいことをしてゐない。

(2) まれるさいふことはやがて自分からつくりだすみちすじである。

(3) 苦しみを通りこした。    (4) 思ひつめてたゆまずつさめる力はすごいものである。

三、(1) 大へん近いところ。    (2) 急にでてきた敵の軍。

(3) 大へんはつきりきれいな景色。    (4) めつたに得られぬものを得てさくいたなつた。

四、(1) 精神、協同、公共、誠意、盡、    (2) 勤、儉、與、    (3) 設、健康、

五、(1) シヤウヨウ    (2) ナカンツク    (3) ナゴリ    (4) キヤウキフ    (5) ヒヨク

(6) アガナフ    (7) アザヤカ    (8) イサギヨイ    (9) イタヅラに    (10) ソツケ

六、(1) 三千年の——光輝ある——歴史

(2) 成績は——い つ も——優等であつた

(3) 鐵眼の——深 大 な——慈悲心

(4) 史上に——不滅の光を——放つてゐる

(5) 空 が——きれいに——すすんでゐる

算術

1. (1) 時 4.13 分 0.01    (2) 時 18 分 13 秒 7 分 27 秒    (3) 時  $\frac{11}{72}$

2.  $a = \frac{5}{12}$        $v = \frac{1}{3}$        $z = 25\%$
3. (2圓 50銭 - 1圓 70銭) ÷ (15銭 - 10銭) = 16      2圓 50銭 + 10銭 × 16 = 4圓 10銭      答 16圓 10銭
4. 2圓 50銭 + 1圓 40銭 = 3圓 90銭      3圓 90銭 ÷ 0.3 = 13圓      答 13圓
5.  $5 + 18 + 19 + 20 = 62$        $12400 \text{ 坪} \times \frac{5}{62} = 1000 \text{ 坪}$        $12400 \text{ 坪} \times \frac{18}{62} = 3600 \text{ 坪}$   
 $12400 \text{ 坪} \times \frac{19}{62} = 3800 \text{ 坪}$        $12400 \text{ 坪} \times \frac{20}{62} = 4000 \text{ 坪}$   
 答 校舍 1000坪 競技場 3600坪 野球場 3800坪 運動場 4000坪

○地理科

- 一、(イ) 三原山 (ロ) 琵琶湖      二、(一) 静岡県 (二) 臺灣 (三) 京都府  
 三、(一) 東京 (二) 大阪 (三) 名古屋 (四) 神戸 (五) 京都 (六) 横浜

○歴史科

- 一、(一) 佛教の傳來 (二) 大化の新政 (三) 元寇 (四) 建武の中興 (五) 大政奉還  
 二、(イ) 眞言宗を傳へた。 (ロ) 鎌倉幕府を開いた。 (ハ) 大日本史を著した。

○理科

- 一、(イ) 炭酸ガス、水 (ロ) 澱粉、脂肪、蛋白質      二、



立正商業學校

圖書 答 試 問

○國語科

- 一、(1) 價安クナリ、價高クナル。 (2) 有餘つてゐる人から、資金の足らぬ人に、  
 二、(イ) 品物のたち、 (ロ) やすいれだん、 (ハ) すばやく (ニ) もとりに應じてあへたる  
 (ホ) 大勢の人

- 三、手助、忠實、熱心、勢力、勉強、

- 四、(圖) [純] [白] [實] [烈] [愛] [誠] [表]

○算術科

- (1) 28      (2) 3      (3)  $\frac{4}{b}$       (4) 513600      (5) 6058466  
 (6)  $10 \text{ 圓} + (1 - \frac{1}{3}) = 15 \text{ 圓}$       答 15圓      (7) 1分2厘5毛  
 (8)  $35 \text{ 升} \times 40 + 40 \text{ 升} = 35$       答 35袋      (9) 3993      (10) 4日16時40分

○地理科

- 一、大化改新、建武中興、明治維新、  
 二、明治二十三年十月三十日、國民の進むべき道をお示し下された。  
 三、石油(新潟縣) 茶(静岡県) 四、新京

京王商業學校

圖書 答 試 問

○算術科

京王商業學校

(1) 答 9 (2)  $35 \times 8 + 2 = 140$   $35 \times 20 + 2 = 350$   $140 \text{ 平方om} + 350 \text{ 平方om} = 490 \text{ 平方om}$

答 490 平方om

(3)  $6 \text{ 圓} \times (1 - 0.13) = 5 \text{ 圓 } 22 \text{ 錢}$  ( $5 \text{ 圓 } 22 \text{ 錢} - 4 \text{ 圓 } 50 \text{ 錢}$ )  $+ 5 \text{ 圓 } 22 \text{ 錢} = 0.138 \text{ 圓}$  答 1 割 3 分 8 厘

(4)  $\frac{4}{9} \times 1.5 = \frac{2}{3}$   $\frac{2}{3} + \frac{4}{9} = 1\frac{1}{9}$   $1\frac{1}{9} - 1 = \frac{1}{9}$

$4000 \text{ 圓} + \frac{1}{9} = 36000 \text{ 圓}$   $36000 \text{ 圓} \times \frac{4}{9} = 16000 \text{ 圓}$   $36000 \text{ 圓} - 16000 \text{ 圓} = 20000 \text{ 圓}$

答 甲 20000 圓 乙 16000 圓

○國語科

- 一、1. 寢食を忘れて研究に没頭す。 2. 萬雷の如く天地もさどろく。
- 3. 不朽の名聲を博した。 4. かひなくしく立働く。
- 5. 名に負ふ松島。

- 二、1. 警戒色 2. 東洋 3. 退歩 4. 陸軍 5. 收入

- 三、1. 輸出 2. 貿易 3. 定期預金 4. 建國 5. 廉賣 6. 購買

○地理、歴史、理科

- 一、炭酸ガス、石灰水へいきを入れると白くにごる。 港が廣くて深い。
- 二、首府東京に近い。 生産地をひかへてゐる。 江戸幕府の始め(紀元二二六三年慶長八年)
- 三、武藏國分寺(奈良時代) 分陪河原の戦(鎌倉時代) 櫻田門外の變(紀元二五二〇年萬延元年) 都を東京にさだめたまふ(明治二年)

第一回帝國議會の召集(明治二十三年) 關東大震災(大正十二年)

成立商業學校

國語科 試問

○算術科

- 1. 答 132,6308 2. 答 32.16 3. 答  $1\frac{7}{13}$  4. 答  $\frac{5}{12}$
- 5. 答  $1\frac{1}{2}$  6.  $5 \times 5 = 25$  答 25 平方m 7.  $350 \text{ 圓} \times \frac{4}{5} = 280 \text{ 圓}$  答 280 圓
- 8.  $1 \text{ l} = 1 \text{ 立方dm} = 1000 \text{ 立方om}$  9.  $12 \text{ 圓 } 40 \text{ 錢} + 0.8 = 15 \text{ 圓 } 50 \text{ 錢}$  答 15 圓 50 錢
- 10.  $42 \text{ 才} - 14 \text{ 才} + 1 \text{ 才} = 29 \text{ 才}$  答 29 才

○國語科

- 一、イ、人は必要にせまられて發明するから必要は發明を生みだすといふ意。 光によつて——あかりをさる。
- ロ、熱によつて——調理をする、機械を動かす、暖をさる。
- ハ、1. ネンレウ(もすもの) 2. ケンキウ(いろ〜ちからしらす)
- ニ、群、先、驚、沖、送、旗、合圖。

東京府立第三中學校

國語 答 試問

成立商業學校・東京府立第三中學校

◎修身科 第一日

(一) よく父母兄弟を始め長者の命を守り、學校にあつては校規に違ひ、小學生としても守らなければならぬ交通規則車内規則等規定されたことを破らぬ様に心がけ、やがてりつばな公民となるやうにつとめます。

◎理科

(二) 1、澱粉 蛋白質 しばう 2、(イ) でんぶん (ロ) 蛋白質  
3、白は日光を全反射するから室を白壁にするに明るくなる。  
4、しつこいは石灰を水にこれたものであるから空氣中の炭酸ガスと石灰とが化合して水にさけない炭酸石灰となつて固るからである。

◎地理科

(三) 1、播磨 2、元明天皇 3、京都、桓武天皇、明治天皇が東京に遷都せられるまで、  
4、(イ) パリ (ロ) ベルリン (ハ) ローマ (ニ) シンセント (ホ) 新京

◎理科 第二日

(文例を省略す)

◎理科

(一) 父母の病氣が重い時、もう薬をのましてもきつめがないと知つても尙いろく手當をして少しでもよくしやうとつとめるのが人間自然の情ではないか。かく出来るだけのことをつくしてそれでも救けることが出来ないのは天の命するところであつて人力ではしかたがない。

(二) (1) 風を防ぎ波をよけて (2) 空腹と寒さをこらへ  
(3) 無理におしきつて (4) やつこのことで行き着いた

◎修身科 第一日

(一) よく父母兄弟を始め長者の命を守り、學校にあつては校規に違ひ、小學生としても守らなければならぬ交通規則車内規則等規定されたことを破らぬ様に心がけ、やがてりつばな公民となるやうにつとめます。

◎理科

(二) 1、澱粉 蛋白質 しばう 2、(イ) でんぶん (ロ) 蛋白質  
3、白は日光を全反射するから室を白壁にするに明るくなる。  
4、しつこいは石灰を水にこれたものであるから空氣中の炭酸ガスと石灰とが化合して水にさけない炭酸石灰となつて固るからである。

◎地理科

(三) 1、播磨 2、元明天皇 3、京都、桓武天皇、明治天皇が東京に遷都せられるまで、  
4、(イ) パリ (ロ) ベルリン (ハ) ローマ (ニ) シンセント (ホ) 新京

◎理科 第二日

(文例を省略す)

◎理科

(一) 父母の病氣が重い時、もう薬をのましてもきつめがないと知つても尙いろく手當をして少しでもよくしやうとつとめるのが人間自然の情ではないか。かく出来るだけのことをつくしてそれでも救けることが出来ないのは天の命するところであつて人力ではしかたがない。

(二) (1) 風を防ぎ波をよけて (2) 空腹と寒さをこらへ  
(3) 無理におしきつて (4) やつこのことで行き着いた

(6) 舟を進める方法がない (6) その土地の未開人

(7) 言ふことをきかない

(三) (1) 信用は最大の利益であるといふこと。 (2) 道徳上から見ることが出来る。

(3) 安い品を高く賣付けた見本と注成品と違へたりする。

(4) 二度とこのやうな商人の所へは客がこないから永くつとかない。

(四) 都會、各種、博物館、圖書館、修養、公園、競馬場、到、所、散在

(五) (1) その勇しいながめは文や語では言ひ表せません。

(2) 私はもちろんおこしはりする心はありません。

(3) 釋迦はたくさん星の中に輝く満月のやうにりつばなものとして國中の人々からたつとばれた。

(4) 長い間の習慣はその人の生れつきと同じになる。

(5) 天皇の御威光を輝かしあらはす。

(六) 團結 記録 想像 討伐 負傷 激流 支配 純良 整頓 容易

(七) (1) 永久に (2) しづかにゆつくりさ (3) わき目もふらずまつすぐに

(4) 他の事を考へず一事を一心にやる (6) 景色 (6) たより

(7) 非常にすぐれてゐる (8) 根だやしにする (9) 天皇、皇后の席にお出ましになること。

(10) よりぬきの兵士

◎算術

(1)  $\left(\frac{3}{5} \text{km} + \frac{1}{2} \text{km} + \frac{1}{2} \text{km}\right) \times 30 = 43 \text{km}$  43km (2)  $15m \times \left(\frac{1}{2} - \frac{1}{6}\right) = 5m$  5m

- (3)  $525 - 35 \times 8 + 2 = 385$        $385 \times 2 + 35 = 805$       答 220m
- (4) 水 1 立 = 1kg      (7)  $1kg \times 2 \times 0.079 = 1.58kg$       答 1.58kg
- (4)  $5.1kg \div 1.02kg = 5(立)$       答 5000 立方體
- (5)  $0.84kg \times 150 = 126kg$        $126kg + 1kg = 126(立)$       答 126(7)
- (5)  $(8m - 80cm \times 3) \div 4 = 1.4m \dots \dots$  額ノ額ノ間       $1.4m + 80cm = 2.2m \dots \dots$  あノ長サ  
 $1.4m + 80cm + 2 = 1.8m \dots \dots$  いノ長サ
- (6) 矩形ノ土地ヲ横切ツテキル矩形ノ面積ノ面積ヲ算出スルベシ。  
下底 = 70m      上底 = 4.5cm      高サ = 1.2cm       $(7 + 4.5) \times 1.2 \div 2 = 6.9(平方cm)$
- (7)  $8.85 圓 - 2.5 圓 + 2 = 7.6 圓$        $7.6 圓 + (1 - 0.2) = 9.5 圓 \dots \dots$  割引セテ乗車賃  
 $9.5 圓 + 2.5 圓 = 12 圓$       答 12 圓

○國史、地理、理科

- (1) 關ヶ原の戦は天下の大小名が徳川、豊臣の二派に分れて戦つたので此の戦に勝利を得た徳川方が遂に天下の實權を握り、江戸に幕府を開いた。
- (2) 五ヶ條の御誓文の第一條「廣ク會議ヲ興シ、萬機公論ニ決スベシ」の御誓旨によつて開かれたものが帝國議會である。
- (3) 應仁の亂後諸將國に歸りて相戦ふも足利將軍の威權衰へて之を如何ともするこゝ能はざる爲、遂に英雄競ひ起つて戰國時代となつた。

(4) 藤原氏が榮華をきはめて地方の政治をかへりみず且藤原一族に非ざる爲才氣ありとも京の官人となれり者は地方に行きて官吏となり止りて武士となつた。

(二) 楠氏……楠正成、正行      新田氏……新田義貞      北畠氏……北畠親房、顯家      名和氏……名和長年

(三) (1) 人民の飢饉に苦しんでゐるのを知られ三年の税を免ぜられ、御自身は御困苦の中にあつて兵の豊になるを喜ばれた。三年後納税さ皇居の修築を人民がお願ひしたがお許しにならず更に三ヶ年のばされた又堤をきづかせ池をほらせなどして人民の爲に農業をすすめられた。

(2) 天皇はおなきけ深く寒夜に御衣をぬいで貧民のつらさを思ひやらせ給ふた。  
(3) 戦國の代にて朝廷御窮乏の中に少しの貢あれば之を皇族、公卿に分ち給ひ、又或年長雨續き墨疫流行せし時御親ら經文を寫し給ひ醍醐の三寶院に下して災を除かんことを祈らせ給ふた。

(四) (1) 九州筑紫平野      (2) 北海道近海      (3) 京都、静岡      (4) 臺灣、沖縄      (5) 臺灣

(五) ○原動力を得易い 五大湖があり水力電氣を得易く又北東部は石炭の産額が多い。

○交通が便 五大湖及セントローレンス、ミシシッピをつなぐ運河があつて原料、製品の運搬に便

○工業原料の豊富 鐵、綿を始めとして各種の産額が多い

○製品の消費力が大 附近に大都會を有し且對岸にヨーロッパ諸國を有する爲消費力が大である

(六) (イ) 淡路島      (ロ) 大阪灣      (ハ) 播磨灘      (ニ) 紀伊水道      (ホ) 鳴門海峡

(ヘ) 紀淡海峡      (ト) 明石海峡      (チ) 神戸      (リ) 大阪      (ヌ) 和歌山

(八) 上二本下二本で其の先は物をかじるとすりへるが、かへつてするどくなる、そして本の方からのびる。

(一) 温泉にとけてゐる硫黄・炭酸石灰等が水から分れて出來たもの

(2) 風化作用によつてくづされた岩石は石英の外は水に分解されてれん土になる。

- (九) (3) 火山の破裂の際吹上げられたがんしやうがかたまつて出来る。
- (1) 種子
- (2) 新しい葉のやうなものが出来之が分れる
- (3) 胞子
- (4) 地中のたま、葉の内がはのたま
- (一〇) 器の中の水が熱せられて體積をまし又水蒸氣が中にみちて壓力をまし、破裂する。
- (一一) 木材をやくと炭が出来る。炭はしめつた所でも變らないから板辨、杭のくさるのを防げる。
- (一二) プレーキはまさつを利用したものでまさつは他の運動をさまたげようとする力を持つからである。

(解答終り)

附

錄



新編

# 難問解決の鍵

## 解答を参照するについての注意

(算術) 〓 序文に示した如く難問解答に重きを置いた結果、易しい計算問題などは答も省略してあるがこれは一に本書の特色である。

算術などは殊に推理一點張りであるから正しい式を作り上げれば是が非でも正しい答を得るのが當然である、他に頼るといふことは實力を養成する上に於ては餘り好ましい勉強方法ではない、但し讀者諸子の爲め算術については式の製作法を示し答を得たる後には如何にして驗算をなすか？ 最も正しい驗算法(難問及び易題)を掲げた讀者はこれを先づ研究することを忘れてはならない。

(作文) 〓 については最も新しい解り易い作文法を掲げ最も苦手の作文を面白く説明してある。

尙吳々も言ふが試験は實力のある人が最も勝つのであるから本書によつて正しい方法で實力を涵養し決して僥倖を望むが如き勉強法はしないことにして貰ひたい。

實力、イクオール月桂冠である。

解答を参照するについての注意

### 算術ニ就テ

#### 整数ニ關スル問題

定義ニ定義トイフノハ法律ノヤウナモノデアル。  
 タトヘバ民事訴訟法トイフノヲ諸君ハ聞イタデアラウガ民事訴訟ニハ裁判所ニ訟訴ヲ提起スル前ニ先ヅ原告カラ被告ヘ其ノ旨ヲ通知セネバナラナイ。  
 コレト同ジ様ニ算術ノ或ル範圍内ノ問題ヲ解クニ當ツテハ此ノ定義ヲ守ラケレバナラナイ、但シ法律ハ或ル時代ニハ時代ノ要求ニ應ジテ變ハルコトモデアルガ  
 數學ニ於テハ定義ハ絶體ニ變ハラナイ。  
 大ト小トノ比較問題ヲ揚ゲルト。

甲ト乙トヲ比較スルニ

甲-乙=整数デアル場合タトヘバ甲-乙=2ノ如キ場合ニハ甲ハ乙ヨリモ大デア  
 ル(1)

#### 應用問題

大少ニツノ數ガアル其ノ差ハ6デ小サイ方ハ15デアアル、大ナル方ハ幾ラカ。  
 此ノ問題デハ少ナル方ガ15大ナル數ハワカラナイノデ

大-少(15)=6.....(1) 大-少=差.....甲  
 大=6+15=21.....(2) 大=差+少.....乙

#### 比例式ノ解法デ

2x=8+4 (1) トアルトキ 2x-8=4 トナル。

結局ニ印カラ右側カラ左側ニ正數ガ移ルトキハ負數ニナル又負數ノ場合ニハ整数トナル。左側カラ右側ヘ移ルトキモ同様デアアル

(例) 12+5+3=6+14 コレヲ移スト 12+5-14-6=0. トナル, =トイフ印ハ  
 甲=乙トイフコトダカラ甲-乙=0 トナルノハ當然デアラウ。

以上ノコトヲ根底トスルトキ, 次ノ問題ヲ解イテミルト。  
 大少ニツノ數ガアル其ノ差ハ12デ大キイ方ハ35デアアル。

解 35(大)-少=12 トイフ式ヲ得ル.....(1)  
 以前ノ手順ニ從ツテ 35-12=少 23.

(注意) (1)ノ如キ問題ニ於テハ少ノヤウニ幾ラカ解ラナイ數ヲ一邊ニ集メテ解ツタ數ヲ一邊ニ集メルデアアル。

問題 大少ニツノ數ノ少ナル數ハ大ナル數ノ0.9倍デアアル大キイ方ハ幾ラカ。  
 0.9倍スルコトハ10デ割ツテ9倍スルコトヲ諸君ハ既ニ知ツテキルデアラウ。

少=36. 大×0.9=36.

0.9倍シタモノガ36ナラバ大ハ0.9デ36ヲ割ツタモノニ等シイコトハ利息算デモ練習シタトコロダ。

$\frac{36 \times 10}{9} = 40.$  答 40

問 題

甲乙丙ノ三數ノ和ハ31デ甲乙ノ和ハ23デ乙丙ノ和ハ18デアル。

$31 - 23 = (\text{甲} + \text{乙} + \text{丙}) - (\text{甲} + \text{乙}) = \text{丙} = 8$

$31 - 18 = (\text{甲} + \text{乙} + \text{丙}) - (\text{乙} + \text{丙}) = \text{甲} = 13$

$31 - 21 = 10(\text{乙}).$

驗算  $13 + 10 + 8 = 31(\text{甲} + \text{乙} + \text{丙})$

$13 + 10 = 23 (\text{甲} + \text{乙})$

其ノ他ハ者自ラ研究セヨ。

甲乙丙三ツノ數ガアル甲乙ノ和ハ30,乙丙ノ和ハ36,甲丙ノ和32デアル甲乙丙ノ數ヲ問フ。

斯ク問題ハ一寸興味ノアル問題デアル充ク讀ソデミルト甲乙丙ハ各々ニ度ツツ出ラシ

ル。

$30 + 32 + 36 = \text{甲} + \text{乙} + \text{丙} + \text{甲} + \text{乙} + \text{丙} = 2 \times (\text{甲} + \text{丙} + \text{乙})$

$= 98 = 2 \times (\text{甲} + \text{丙} + \text{乙}) \quad 49 = (\text{甲} + \text{丙} + \text{乙})$

$49 - 30 = 19 \dots \dots \text{丙} \quad 49 - 36 = 13 \dots \dots \text{甲}$

$49 - 32 = 17 \dots \dots \text{乙}$

問題 幾ダースカノ鉛筆ガアルコレヲ七人ノ子供ニ5本宛分ケルト1本餘ル鉛筆ハ幾ダースアルカ。

全體ノ本數=5本×7+1本=36本

$36 \text{本} \div 12 \text{本} = 3.$  答 3打.

次ハ植木算ヲ研究シテミヤク。

問題 60mノ間隔ヲ置イテ2本ノ電柱ガアル。此ノ電柱ノ間ニ2.5m毎ニ櫻ヲ植ヘルニハ幾本ノ櫻ガ入用カ。

(解) アル長サノ場所ニ柱ヲ立テタルニハ柱ノ數ト間隔ノ關係ハ常ニ次ノ様デアル。

(間隔ノ數)+1=(柱ノ數) シタガツテ(柱ノ數)-1=(間隔ノ數)

此ノ問題デハ全體ノ長サガ60mデーツノ間隔ガ2.5mデア

故ニ全體ノ長サ  $60 \text{m} \div 2.5 \text{m} = 24$  (間隔ノ數)

故 = 24 = 1ヲ加へ

$$24 + 1 = 25$$

キ

但シ此ノ問題デハ2本ノ柱ガ初カラ既ニアルノダカラ 25 - 2 = 23.

問題 124 m ノ運動場ノ周圍 = 4 m 毎ニ柳ヲ植ヘルト柳ノ數ハ何本カ。

答(23本)

假例 = 直線上ニテモ圓周上デモ三角形デモ上ノ定義テハ變化ハナイ。

但シ諸君ガ今ツノ圓ヲ描イテミルト直線ノ西端ガ密接シテキル故ニ

(間隔ノ數) + 1 = (柱ノ數)ハ直線ノ場合デアルカラ (1)

(間隔ノ數) + 1 - 1 = (柱ノ數)ハ圓周ノ場合デアル (2)

今考ヘテミルト圓周モ角ノ周圍モ其ノ西端ハ密接シテキルカラ

(2)ハ三角形, 四角形, 及至如何ナル多角形ノ場合デモ適用サレル。

$$\text{故} = 24m \div 4m = 31$$

答 31本

問題 職工ノ賃錢男4人分ト女7人分トガ等シトスレバ男一人分ノ賃錢ハ幾何ナルカ但シ女一人分ヲ76錢トスル。

解 (1) 女一人分ノ賃錢ガ明ラカナルニヨリ7人分ノ賃錢ヲ計算スルニ76錢×7 = 5圓32錢

題意ニヨリ 5圓32錢 = 男四人分

$$5圓32錢 \div 4 = 1圓33錢 \dots \dots \dots \text{男一人分}$$

解2  $\frac{1}{4} : \frac{1}{7}$  トヲ通分スルニ,  $\frac{7}{28} : \frac{4}{28} = 7:4$  トナル。

故ニ女ノ賃錢ハ男ノ $\frac{4}{7}$ デアナル。

コレハ分數ニテ考ヘルト

$$76錢 \div \frac{4}{7} = \frac{76錢 \times 7}{4} = 1圓33錢$$

解3 コレヲ比例式ニ作レバ

女1人分ハ76錢

男4人分ト女7人分ト等シイ, 故ニ男ト女ノ比ハ7:4

$$\text{故} = 7:4 = x:76錢 \quad 4x = 76錢 \times 7 = 1圓33錢 \quad \text{答 } 1圓33錢$$

コレハ比例ヲ解クノガ一番簡單デアナル。

面積ニ關スル問題

(一)問題 三角形ノ板ガアル底邊ヲ35 cm 高サガ13 cm アル面積ヲ求メヨ。  
三角形ノ面積 = 底邊×高サ÷2 トナル。  
3角形ノ各角ノ和ハ2直角デアナル。

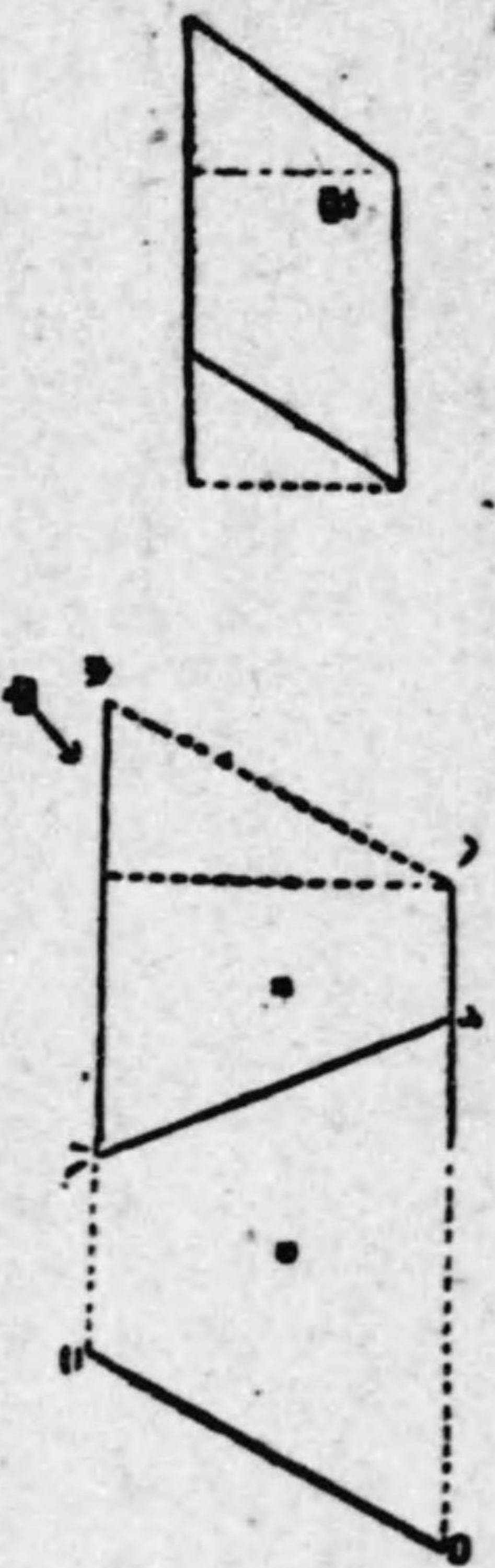
矩形ノ各角ノ和ハ四直角デアール。

コレカラ考ヘテモ底邊×高サ=矩形面積

三角形ノ面積ハ矩形面積ノ半分デアール

$$35(\text{cm}) \times 13(\text{cm}) \div 2 = 227.5 (\text{平方cm})$$

(二) 上底ガ27 m 下底ガ36 m テ面積ガ504 平方 m ノ梯形ノ鐵板ノ高サハ何程カ。



圖ニヨツテ考ヘルト梯形ノ下  
底ハ甲邊ノホハ、デアリ上底  
ハイヘデアアル故ニ  
(上底+下底)=ホニ =底邊  
トナルヨク觀ルト梯形ハ平行

四邊形ノ面積ノ二等分ニ等シイコトガ判ル。

故ニ梯形ノ面積=(上底+下底)×高サ÷2

故ニ次ノ式ガ成立スル

$$504 \div (27 + 36) \times 2 = 4$$

答 4m

問題 眞鍮ノ比重ハ8.4 トスレバ長サ1 m テ切口ノ直径ガ5 cm ノ眞鍮ノ圓イ棒ハ重サ幾斤カ。100.ノ水ハ1g アル。

試問 (1) 圓イ棒體ノ積ハドウシテ計算スルカ。

(2) コレト同シ水ノ目方ハ幾何カ。

(3) 眞鍮ノ比重ハ幾何カ。

上ノ三問ガ研究サレタ後ハ比較的ヤサシイ問題トナル。

解(1) 圓イ棒ハ即チ圓錐デアアル其ノ體積ハ

$$5 \times 5 \times 0.785 \times 100 = 1962.5 (\text{cc}) \text{トナル。}$$

(2) 永100ノ目方ハ1gデアアルカラコレト同體積ノ水ノ目方ハ1962.5gデアアル

コトハ勿論タ但シコレハ眞鍮デアアルカラ1.9625kg×8.4=16.485kg.

數學ハ斯ナ風ニ系統ヲ追フラ正シク計算スルコトガ大切デアアル

比例式=比例式ハ數學ノ中デ最も興味アルモノデアアルガ可ナリ難解デアアル然シ正シイ

解釋ヲ下シテ一度諸君ノ血トナリ肉トナレバ應力カハ忽チ増加シシカモ如何ナル種

類ノ問題モ殆ンド比例式ヲ用ヒテ解釋デキル。

本書ハ別ニ参考書ノ純粹ナモノデナク紙數ノ都合モアルノデ多數ノ問題ヲ揚ゲ得ナイ

カラ以下簡單ニ解説ヲ試ミルコトニスル。(比例配分)

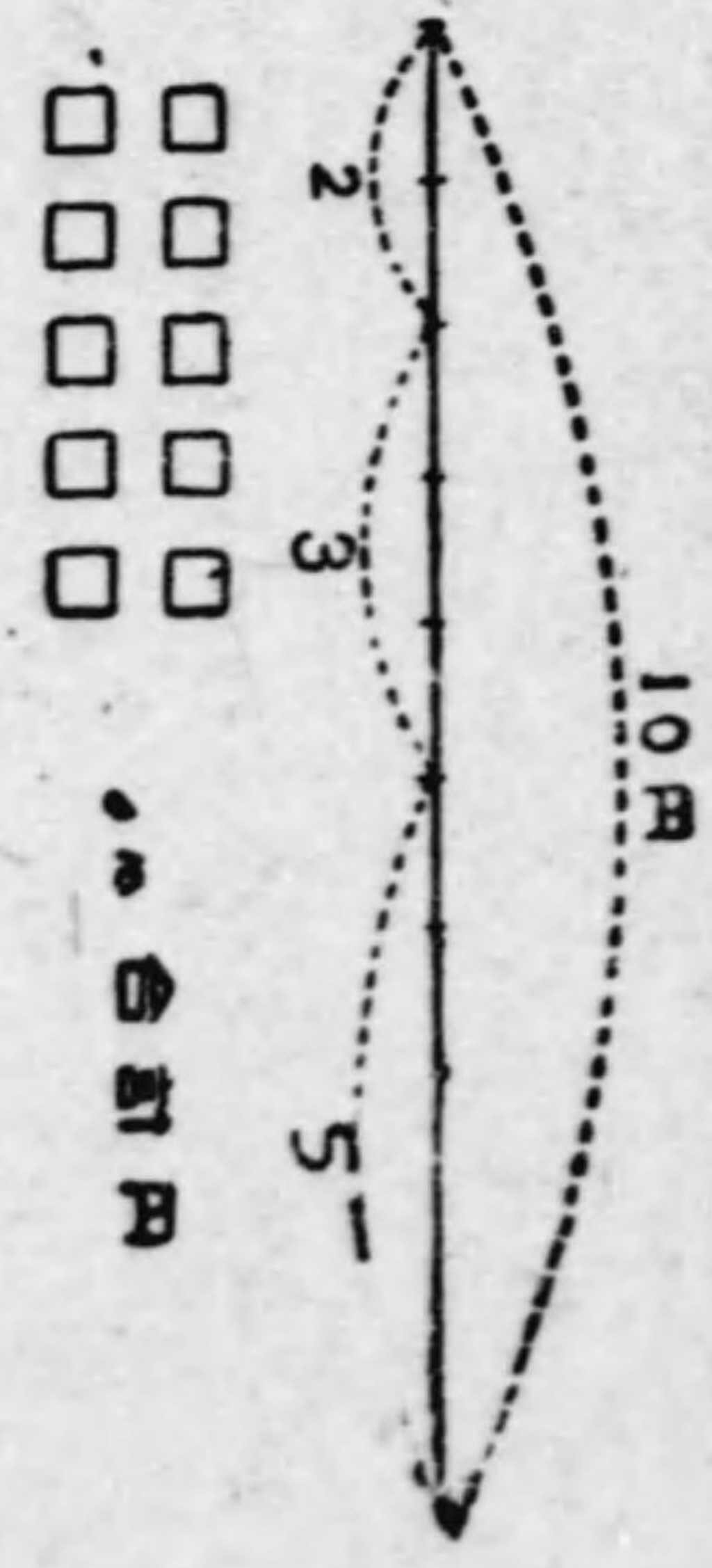
比例配分ハ按分比例トモイフ。

10 圓ノ金子ヲ甲乙丙三人ニ2:3:5ナル割合ニ分テ

換言スレバ 甲= $\frac{2}{3}$ 乙 乙= $\frac{3}{5}$ 丙ナル様ニ分テ トイフノデアアル。

結局 10 圓ヲ 1 箇ノモノトスレバ 圓 = アルガ  
如ク分テ トイイノデアル。

$$2+3+5=10=1 \text{ 個ノモノトナルガ故} =$$
$$2=10 \div 10 \times 2 \text{ トナル}$$



故 = 配分比例ノ定義ハ (甲+乙+丙) ×  $\frac{\text{甲}}{\text{甲+乙+丙}}$

トイフ形式ヲトルコノ形式ハ 絶體 = 變ハルコトハナシ。

(一) 問題 100 圓ヲ 2:3 ノ如ク分テ。

上ノ義定ニヨツテ,  $2+3=5$  故 =  $\frac{2}{5}$  ト  $\frac{3}{5}$  = 分ツ。

$$100 \times \frac{2}{5} = 40 \quad 100 \times \frac{3}{5} = 60 \quad \text{答} \quad 40 \text{ 圓} \quad 60 \text{ 圓}$$

(二) 問題 卵 40 個ヲ二人ニ其ノ比ガ  $\frac{1}{2} : \frac{1}{3}$  = ナルガ如ク分テヨ。  $\frac{1}{2}$  ト  $\frac{1}{3}$  ト何

レが大ナルカラ比較スルニ諸君ノ知ツテキル最少公倍数ヲ分母トスルニ,

$$\frac{3}{2 \times 3} : \frac{1 \times 2}{3 \times 2} = \frac{3}{6} : \frac{2}{6} \text{ トナル。}$$

$\frac{3}{6} : \frac{2}{6}$  デアルカラ分母ガ同ジテレバ

分子 : 分子ノ比ハ常ニ成立スル

$$3+2=5 \quad 40 \times \frac{3}{5} = 24 \quad 40 \times \frac{2}{5} = 16 \quad \text{答} \quad 24 \text{ 個} \quad 16 \text{ 個}$$

(正比例. 復比例)

比例式ヲ作リ上ゲル上ニ於テ第一番ニ重要ナモノハ

(1) 正比ト反比ノ區別ヲ明ニスルコト。

例. 本一冊ナレバ 4 錢ニ冊ナレバ 8 錢 三. 四 ..... ト冊數ノ増加スル毎ニ金高ヲ増スコレバ正比例トイフ。

例. 今正雄ガ本ヲ讀ムニ毎日 10 頁宛讀ムバ 20 日カ、ル 20 頁ナレバ何日カ、ルカヨレハ毎日讀ム頁數ヲ 10 頁増加即チ 2 倍ニスレバ日數ハ半分トナル。

ヨソナ風ニ或物ガ増セバ或物ハ一定ノ比ヲ保チテチチガ減少スルコレバ或物ト或物トガ反比例ヲナストイフ。

正比例問題

(1) 人夫ガ 18 圓ノ賃金ヲトルニハ 8 日働カネバナラナイ 然ラバ 15 日働イタナラバ

貸金幾圓ヲ得ルカ。コレヲ上記ノ註意ニ随ヘバ次ノ式ガ出來ル。

8 : 15 = 18 : x      8x = 15 × 18    = x = 33.75

即チ答 33 圓 75 錢 トナル。(註)勤キノ量ハ毎日變ハラナイ。

(2) 或人數ガ 30 日間 = 5t ノ石ヲ運ソダ 75 日間 = ハ何ト運ゾカ。

(此ノ場合人數ハ計算ニ入レル必要ハナイ)

式 30 : 75 = 5 : x

30x = 75 × 5    x = 12.5    答 12.5t

◎反比問題

(1) 大工ガ 10 人デ 24 日カ、ル仕事ヲ 15 人デスルト幾日カ、ルカ。

(註) 人數ヲ増セバ仕事ノ量ガ増ス随ツテ日數ハ一定ノ仕事ノ場合ハ少クナル故ニ仕事ノ量ガ一定日ノ場合ハ人數ト日數トハ反比例スル。

式 15 人 : 10 人 = 24 日 : x    x =  $\frac{10 \times 24}{15}$  = 16    答 16日

(2) 縦ガ 4m 横 9m ノ矩形ノ地面ガアルトスルコレト同ジ面積ノ地面ヲ縦 3m アル土地ハ横何mカ。

(註) 矩形ノ面積ハ縦 × 横デアルカラ

縦 2m 横 4m ノ廣サハ 2 × 4 = 8(平方米)  
縦 4m 横 2m ノ廣サハ 4 × 2 = 8(平方米)

(1)(ロ)ヲ比較スルニ、  
 $\frac{2}{4} : \frac{4}{2}$     ハ單ニ順序ガ變ハツタニスギナイコトニ氣附クダラソ。

故ニ面積ヲ一定トスレバ縦横ハ其ノ長サニオイトテ、互ニ相反比スル。

式 4 : 3 = x : 9.      x =  $\frac{36}{3}$  = 12    答 12m

◎算術難問

四則ヲ最モ面白ク一寸考ヘツクナイ問題ハ豊島師範ニ發見シタ。

12. ト 15. ノ何レデ割ツテモ 9 ガ餘ル整数ハ何カ?  
考ヘ方. 是ニ甲ト云フ整数ガアル題意ニ依レバ

甲 ÷ 12 =  $\frac{\text{甲}}{12}$  余 9.    甲 ÷ 15 =  $\frac{\text{甲}}{15}$  余 9.

故ニ.  $\frac{\text{甲}}{12}$  ト  $\frac{\text{甲}}{15}$  トハ同ジデナイ. ケレドモ  $\frac{\text{甲}}{12} \times 12 = \frac{\text{甲} \times 15}{15}$  デアルヲハ理解出來ヤソ、

然ラバ 12. デモ 15 デモ割レル數ハ何カト問ヘバ諸君ハ異口同音ニ 12. ト 15. トノ公

倍數ニアルト答ヘルニ違ナシ。

ヨツテ 12. ト 15 トノ公倍數ヲ求ムルニ、

$$\begin{array}{r} 3)12 \quad 15 \\ \underline{4} \quad \quad 5 \\ 4 \times 5 \times 3 = 60. \end{array}$$

(最少公倍數) 故 = 60 + 9 = 69. デアル。

驗算 69 ÷ 12 = 5.....余 9. ——(1) 69 ÷ 15 = 4.....余 9. ——(2)

故ニ此ノ答ハ正シイノデアアル。

豊島師範ノ解答ノ部ニハ便宜上 69 トシテハアルガコレハ必ズシモ正シイ答トハ云ハレナイ。

何故カ、ソレハ 12. 15. ノ公倍數ハ無數ニアル、故ニ公倍數ナレバ如何ナル數デモヨク

足セバ公倍數ヲカク、 小 中 大  
甲. 乙. 丙.....トスルト

$$(甲+9) \div 12 \quad (乙+9) \div 12 \quad (丙+9) \div 12$$

$$(甲+9) \div 15 \quad (乙+9) \div 15 \quad \dots\dots\dots$$

ハ必ズヨク余スノデアアルカラデアアル。

故ニ本題ノ答ハ公倍數ナレバ如何ナル數デモソレニヨク足シサヘスレバヨイトイフノ  
ガ一等正シイ解デアアル、斯クイフ風ニ諸君ハ先カラ先隅カラ隅ヲテ考ヘテ最モ正解ヲ  
得ルヤカニスルノガ大切デアアル單ニ 69 トシタ人ハ間違ツテハキナイガ満點ヲ得ルニ

トハ難シイ。

### ◎比例式ニツイテ補充

單比ノ場合ニハ割合ニ簡單デアアル。

(正比式ノ場合) 2圓出セバ5冊買ヘル書物ガアル四圓デハ幾冊買ヘルカ?

$$2 : 4 = 5 : x \quad \text{内項ノ積ト外項ノ積トハ等シイカラ} \quad 4 \times 5 = 2 \times x \quad = 2x = 20.$$

x = 10. 故ニ 10冊ヲ買ヒ得ル。

是ニ注意スベキハ比例式ニハ深い意味ガアル。凡ソ比例式程味ヒノ良イモノハ數學ニ  
ナイトイツテモ過言デナイ。

1冊ガ 50錢ナラバ2冊ハ幾何カ。

結局 1冊ガ2倍ニナレバ價モ2倍ニナルカラ公數式ヲ作ルコトガ出來ル。

$$\frac{2}{1} \times 50 = \frac{100}{1} = 100 = 1圓.$$

(讀者深ク研究セヨ)

反比 一ツノ仕事ヲ五人デ2日カ、ル十人デハ何日カ、ルカ、?

人數ガ二倍ニナレバ働ク量ヲ同ジトスレバ  $\frac{2}{2}$  日デ出來ル譯ダ。







## 綴方

作文の第一に必要とするところは、何よりも眞實の感じを正直に表はすことである、九州の或小學の二年生が、私の妹、といふ題で次のようなことを書いた。

◎私のいもうと、は、四ツです。毎朝おきるとぐせります。

ぐせります。とは國語でいふと、泣いて氣嫌を悪くしますといふことである、先生はこれに丙をつけた。勿論これは幾ら二年生でも作文になつてはゐないが正直な點に於

ては此の二年生の妹の一端を充分に伺ひ知ることが出来る。二年生としては上出来といはざるを得ない。

故に先づ正直、それから、次の如くせよ。

(一) 大體は何か、(二) それについては何をかけば最も良く大體を表はすことが出来るか、(三) そんな言葉が奇麗か。

而して後誤字はないか方言は混つてゐないかなどと充分に検査する。

(一) 少ない。(二) 少ない。

などの如く誤字のために甚しい間違をすることがある。

泉岳寺には一日に參詣する人が多いが

泉岳寺に參詣する人は少ない、とすると、どうだらう、  
まるで反對のことを言つたことになる。

### 題 或る日曜

或る日曜とは何時の日曜でも今日までの日曜ならいつでもよい。

何を書けば日曜に應しいかと考へて魚釣りに行つたことが最も應しいと思へば前の注意に従つて書く。

### 或る日曜

今日は六郷川へ魚釣に出かけやうと昨日學校からの歸り道具島君と釣束してあるので眼醒時計を六時にかけて置いた (注意) (一)

仲良く肩を並べて凸凹の多い田舎道を歩いて行くと朝風に頬を撫でられる度に冷りつ

として氣持が良い道端の草には未だ残つてゐる露がきら／＼と輝いて美しい。

田にはもうお百姓が多勢出て唄を唄つたり、がやがやと何か話しては高い聲で笑ひながら働いてゐる(後畧) 注意(二)

(一) は書き出しである先づ大體を書いたのである。

(二) は大體を書くには何から一番に書くか?

歩いた道はどんな道か、此の二人は六郷川の近くに居ること又は判るだらう。

(後略)は魚釣の光景を楽しく表はすために書くことを吟味する。

### 仕事 樂 (瀧野川商工)

仕事とは何であるか範圍がなかく、廣いので一口には言へないが人間の務であると思ふ、人間は權利もあが又義務もないがしろには出来ない、むしろ義務を忠實に遂行する人が最も向上する、言ひ變へれば仕事は吾等の生活の根源であり向上の最善の方法である。

僕は東京の様な繁華な土地に生れたので朝風の快い夏の朝の牧場の働きも農家のまじり切りも知らないが讀本の中にある「吹くや乙女の前髪も」の句を思ひ出したりするときは朝の働のどれ程愉快なことだらうと羨しく考へる、でも僕等は未だ生徒の身分だから勉強が仕事である、難しい算術の應用問題を征服したときの感これこそ仕事の樂だ、僕等の仕事の範圍は只勉強だけだから余り他には知らないが早く樂を多く味ふ身分になるために一生懸命勉強しやう。

(諸君は未仕事に關しては余り知らないのでこの位で充分だらうと考へる)

### 我が母校

註(これは人々によつて出身の學校が違ふから編者の出身校を題材として書いてみるからこれを注意して何を書くのが適してゐるかをよく注意する)

東の空に赤々と太陽が輝きはじめる快い朝風が頬を撫でる僕の家の前前の廣場にはもう友達が大勢集つて遊戯をはじめた、部落長が出發の笛を吹き鳴らすと一年生から六年まで十五六人が列をつくつて進行をはじめた。

一里の山道を冬の朝も夏の朝も霜を踏み露を分けて僕等は村の中央の小高い丘の上にある學校へ通つた校舎は三百人の生徒入をれるだけの狭い建物であるが丘一帯が廣い運動物で周圍を取りまいてゐるポプラの木は五六年以前の卒業生達が植へたものでもう大層大きくなつて青々とした葉が茂る。

先生は背の高い村中の尊敬を一身に集めた慈愛深い校長先生を初めとして全員八人がとても眞剣に二三百余人の生徒を導いて下さるのだ。

僕等も眞剣に勉強するので未だ、落第點なんか貰つた生徒は一人も居ない。卒業生も全部眞面目な人達許りで一ヶ月に一度は學校に集合して畑の手入や運動場の草掻りをして下さる。

勉強に疲れた後はポプラの木の下に集合して唱歌を歌つたり圓木に登つたりする。先生も生徒も區別なく斯うして眞面目に勉め面白く遊ぶ一つの大きな楽しい家族である。

然しあの見晴しの良い丘の上からの眺望やポプラの木の茂みも今は過去の夢となつた

今頃は必度僕等の可愛い弟や妹達が愉快に學び快活に運動してゐるだらう。僕はあの親切な校長先の最後の訓辭と他の先生の親しい教訓を思ひ乍ら勉強を續けてゐるお懐しい私の母校よ永遠に健やかな兒童を作り堅忍不拔の精神を養成してくれ。

### 入學試験の準備の心得

敵を倒すには先づ充分に敵を研究して戦を挑まなければならぬ日本刀も磨がかゝらなければあの切味は示さない負けるのは充分の磨と敵の研究が不足してゐるからだ。私は此の考へを何時も失はない。

萬卷の書籍も亂讀すれば一冊の書物の精讀に劣るだらう廣いよりは深いことが必要だ。私はこれにも注意しやう。

(註) (右の文はごく短文だが準備の心得を表はしてゐる)

舊師に入學を報ずる手紙 (候文)

拜啓、櫻ほころぶ春暖の候先生益々學事に勉勵あそばさることと愚考仕り候、小生入學試験のこと其の後も日日憂慮仕り起居もやや不規則にながれる程に候ひしも先生の御訓育のお蔭と天運とで一昨日合格通知に接し申し候真に天にも登る喜にて父兄も早速先生へ御通知御報恩の意を表せと促し申候ひしも雜事に取りまざれ不本意ながら本

日まで延引仕り候段汗顔の至りに候。

今後も益々先生の御訓教を體し心身の修養を勵み學業を卒ふべく勉み以て御高恩の萬分の一に酬い奉り度覺悟に候、先づは拙文ながら入學御報告まで草々。

明治維新 (文語體)

四海波靜かにして世はまさに太平の夢をむさばり、遊惰と柔弱とは正に世を蔽ふ、この時幾多忠勇の士が骨を削り肉を殺ぎて聖天子聖國のため流血の偉業を成し遂げたる國難多事なりし明治維新を回想して聊かの興奮資料となすは日本男子たるものの眞の面目にあらずや。

三條河原を紅に染め四條の橋に屍を積む、爲に鴨川原に咲く草花は忠魂のこつたる赤き血の色に溢れたりといふ。或は異國の黒船の號砲に膽を奮はれたる幕府を屍目に墮の浦に高杉普作肉彈の法を案じて火藥を背に敵船に部下をして轉びこましむ或は鹿兒島城下に敵艦の錨を切りたる男子の熱血に大和魂躍るが如し。

彼等熱血漢果して何をかなせる、彼等の膽つ玉と怒號とは遂に錦旗を京にひるがへせり、其の後に來りし二大國難も彼等の努力空しからず悠然としてこれを斥け日の大御旗は高く風に舞ふ。

しかるに當時の緊張せる世心漸く弛み頽廢ます〜人心を侵すされど一旦緩急あらば

直ちに擡頭する大和魂を現はす我國民ならずや、盗人を捕へて繩をなう體の不用意は  
 すべて維新の彼等が苦患に對する態度を思はば平常の心構へ肝心なり、吾等大いに心  
 すべきなり。

### 東京府管内主要中等學校便覽

(男子の部)

下車地の欄で線名を記さないのは東京市電の分です。

郡區名	官公私立	學 校 名	所 在 地 名	下 車 地	電 話
神田區	公立	東京府立第一中學校	西日比谷町	永田町	銀座二四〇八
神田區	公立	第一東京市立中學校	富士見町二丁目	九段坂	上九段三三四一
神田區	公立	東京市立商業學校	麴町一丁目	牛藏坂	門四谷二五四七
神田區	公立	東京市立商業專修學校	富士見町	上九段	一八三二
神田區	私立	曉星中學校	飯田町三丁目	上九段	一八三二
神田區	公立	法政大學附屬商業學校	富士見町四丁目	新見附	九段一七五
神田區	公立	法政大學附屬工業學校	同	同	同
神田區	公立	東京鐵道學校	一番町	五番町	九段九二一
神田區	私立	明治中學校	裏猿樂町	三崎町	神田二四二〇
神田區	私立	錦城中學校	錫町三丁目	三崎町	神田二四三〇







區川品					區川深			區所本						
同	同	同	同	私立	私立	同	同	同	同	同	同	同	同	同
東京府立品川工業補習學校	攻玉社中學	攻玉社商業學校	立正商業學校	日本體育會荏原中學校	東京府立實科工業學校	東京府立化學工業學校	東京府立第三商業學校	江東商工業學校	東京植民貿易語學校	東京保善工業學校	東京保善商業學校	日本大學商業學校	日本大學商業學校	東京府立第三中學校
南品川五丁目	西大崎	同	東大崎四丁目	大井北濱川町	富川	千田	越中島	平野	同	同	同	同	同	柳原
省線大井町驛	目蒲電不動前	同	省線五反田	京濱電立會川	總右衛門町	化學工業前	越中島	萬年	同	同	石原	同	同	江東橋
高輪一八〇三	高輪六三七〇	同	高輪三九六	同	本所五〇五〇	本所八九〇	本所六六二〇	墨田四九一	墨田一一四九	墨田一六六	墨田三六〇九	同	本所五〇七〇	本所二四

區野中		區谷澁				荏原區	區黒目	區谷田世						
私立	私立	同	同	同	私立	公立	私立	公立	同	同	同	私立	公立	
武藏野商業學校	中野中學	東京府立第一商業學校	青山學院中學部	名教中學	東京英育實業學校	帝都商業學校	東京府立高等學校	日本獸醫學校	東京獸醫學校	世田谷中學校	國士館商業學校	國士館中學校	東京府立園藝學校	
前原町	櫻山町五〇	鉢山町	代々木西原町	代々木上原町	代々木上原町	鉢山町	小	下目黒三丁目	袋町五九一	下馬町一丁目	同	同	深澤町三丁目	
京王電幡夕谷	省線中野驛	東橫電代官山	京王電代々幡	小田急代々木上原	青山七丁目	東橫電代官山	目蒲電武藏小山	省線目黒驛	東橫電高等學校前	同	同	同	玉川電駒澤	玉川電松陰神社前
中野四五〇六	同	青山五〇八五	同	同	同	同	高輪一一一六	同	同	同	同	同	同	世田谷一五



南多摩郡	北多摩郡				東多摩郡
私立	同	同	同	同	私立
玉川中學校	明星學園中學校	關東中學校	明星中學校	成城高等學校	成蹊高等學校
町田町芝生	武藏野村吉祥寺	武藏野町境	府中	砧	武藏野村吉祥寺
小田原急王川學園前	省線吉祥寺驛	省線武藏境驛	京王電府中	小田原急成城學園前	省線吉祥寺驛
	府中	府中	府中	砧	秋窪
	一三一	一一一	一三一	一〇〇	一一三
					一一四

昭和九年六月一日印刷  
昭和九年六月五日發行



附典答解と問試學入

定價八十錢  
送料十錢

編纂者 春陽社編輯部

發行者 森田義春

印刷者 山崎康

發行所 東京市神田區神保町三ノ一七 春陽社

電話九段(33)一〇七五番

大賣捌 九段書房 奧村松榮堂 北隆館 東海堂 大東館 三進堂  
昭文館 上田屋 奎運堂 崇文堂 文陽堂 東京堂

藤田 操 先生著

最新刊

# 自習と受驗 圖式算術解法

四六版五百餘頁  
精終插圖多數上製  
定價壹圓  
送料十二錢

算術は斯の如く研究せよ……  
圖解は分り易く、實力がつく

本書は全國中等學校、最近五ヶ年間の入學試験問題中より代表的な難問千餘題を撰出し更に重要問題千餘を加へ、先づ四則を徹底的に研究し、應用問題に到つては、最新なる配列法を法ひ、且嶄新なる圖式の研究により算術學習者のために自學自習により算術學の實力を完全に體得しうるやうに充分の努力を拂つて著したものである。

編纂にあつては著者、多年指導體験による独自の、圖解法により、論理の完璧を期し、日常實力の養成、記憶の整理、絶對に他の追隨を許さず。

教科書と併用の参考書に、受驗の準備に、敢て世の識者にこれを推奨す。

## 度量衡表

### メートル法度量衡

1m ... (1米) = 3尺3寸  
1km ... (1杆) = 1000m = 3300尺  
1dm ... (1分) = 0.1m  
1cm ... (1厘) = 0.01m  
1mm ... (1毫) = 0.001m  
1a (アール) = (10m)<sup>2</sup> = 100平方m  
1 l (立) = (10cm)<sup>3</sup> = 1000立方cm = 1000cc  
1g ... (1瓦) = (4匁) = 100cg = 1000mg  
1kg ... (1斤) = 1000g  
15kg = 4貫  
1t ... (1噸) = 1000kg

### 尺貫法度量衡

1尺 =  $\frac{10}{33}$  m      1尺 = 10寸      1寸 = 10分  
1丈 = 10尺  
鯨尺1尺 = 1.25尺  
1里 = 36町      1町 = 60間      1間 = 6尺  
1坪 = (1間平方) = 1步  
1町 = 10段      1段 = 10畝      1畝 = 30步 = 0.99a

$$1升 = \frac{2401}{1331} l = \text{約} 1.8l$$

$$1石 = 10斗 \quad 1斗 = 10升 \quad 1升 = 10合$$

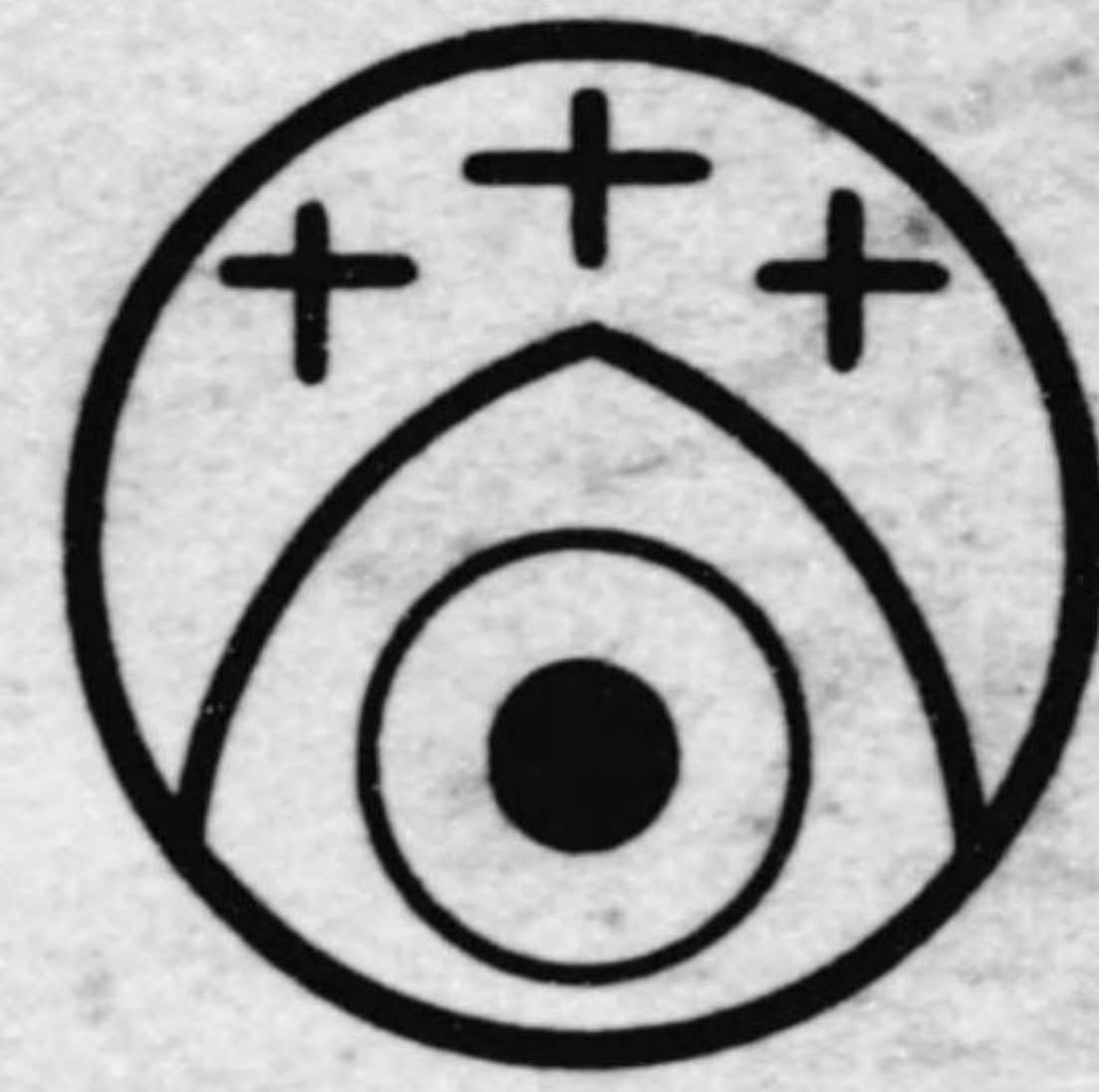
$$1貫 = \frac{15}{4} kg = 3.75kg$$

$$1貫 = 1000匁 \quad 1匁 = 10分$$

$$1斤 = 160匁 = \frac{3}{5} kg = 7.2kg$$

### ヤード、ポンド法度量衡

1ヤード(碼) = 0.9144m = 3.0175尺  
1フート(呎) = 30.48cm  
1インチ(吋) = 25.4mm  
1哩 = 80鑽 = 1760碼 = 5280呎  
1鑽 = 22碼      1碼 = 3呎      1呎 = 12吋  
1哩 = 1.609344km  
1溼 = 1.852km  
1ポンド(封度) = 16オンス      1オンス = 28.35  
1英トン = 2240封度 = 1.016064t  
1ガロン = 3.777 l



¥.80